

## 第 25 回青年対策交流集会に参加して

東海地方名古屋支部青年部書記次長 橋本隼輝

私は今回 2 回目の参加となり、今回はより深く全国の皆さんと交流できたらいいなと思い参加致しました。

今回の交流会議では、私は所属する D 班の発表者となり、とても緊張感を持って会議に臨みました。

初日の鈴木委員長のオルグで考えさせられたのは、我々若手は先人の方々の功績をまだまだ知らなかった事と、これまでに勝ち取ってきた権利をこのままでは失ってしまう危機感を胸に抱きました。

そして 2 日目の松永書記長のオルグを受け、私はこれまでただ組合の諸先輩方や中央の皆様を守られている、青二才だと痛感しました。

今回の交流会議で感じたのは、我々若手はまだ弱く、このままではただ雇用主の言いなりのまま労働に対する不平不満も言えず潰されてしまう危機を感じました。

そうならない為には、我々若手は先人の方々がこれまでに戦ってきた過去の事例から現在に活かせる情報を探して、雇用主や権力に負けない我々の強みを作り、次代へ繋げてより良い労働環境や賃上げを勝ち取っていきたいと思いました。